

# 宮城県農林水産物・食品輸出促進戦略の概要 (2022年度版)

## 1 輸出戦略策定の背景

2017年3月「宮城県農林水産物等輸出促進戦略」策定

国内の少子高齢化の進展  
国内消費市場減少懸念

諸外国の人口増加と  
富裕層の増加  
海外食市場の増大

東日本大震災による  
販路喪失、輸入国規制

コロナウイルス感染症による  
生活様式の変化

社会情勢の変化と輸出に関わる様々な課題の発生

新たな輸出戦略策定の必要性

## 2 本戦略の位置付け

新・宮城の将来ビジョン  
(2021~2030年度)

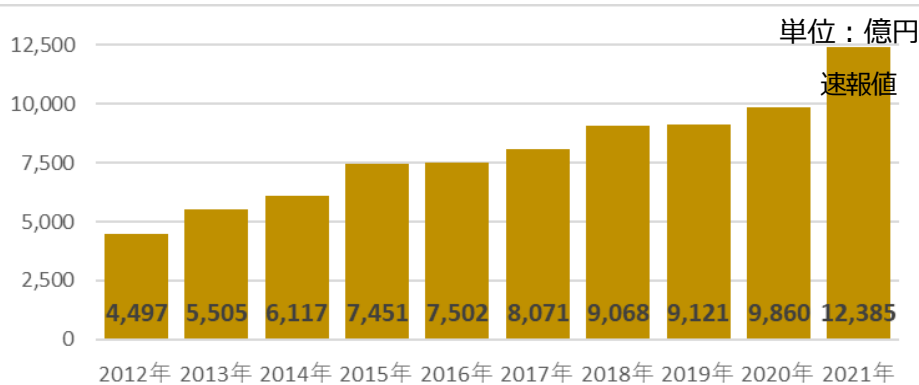
国際関連の個別計画

みやぎ国際戦略プラン  
(2022~2024年度) 3年間

食品輸出関連分野の計画

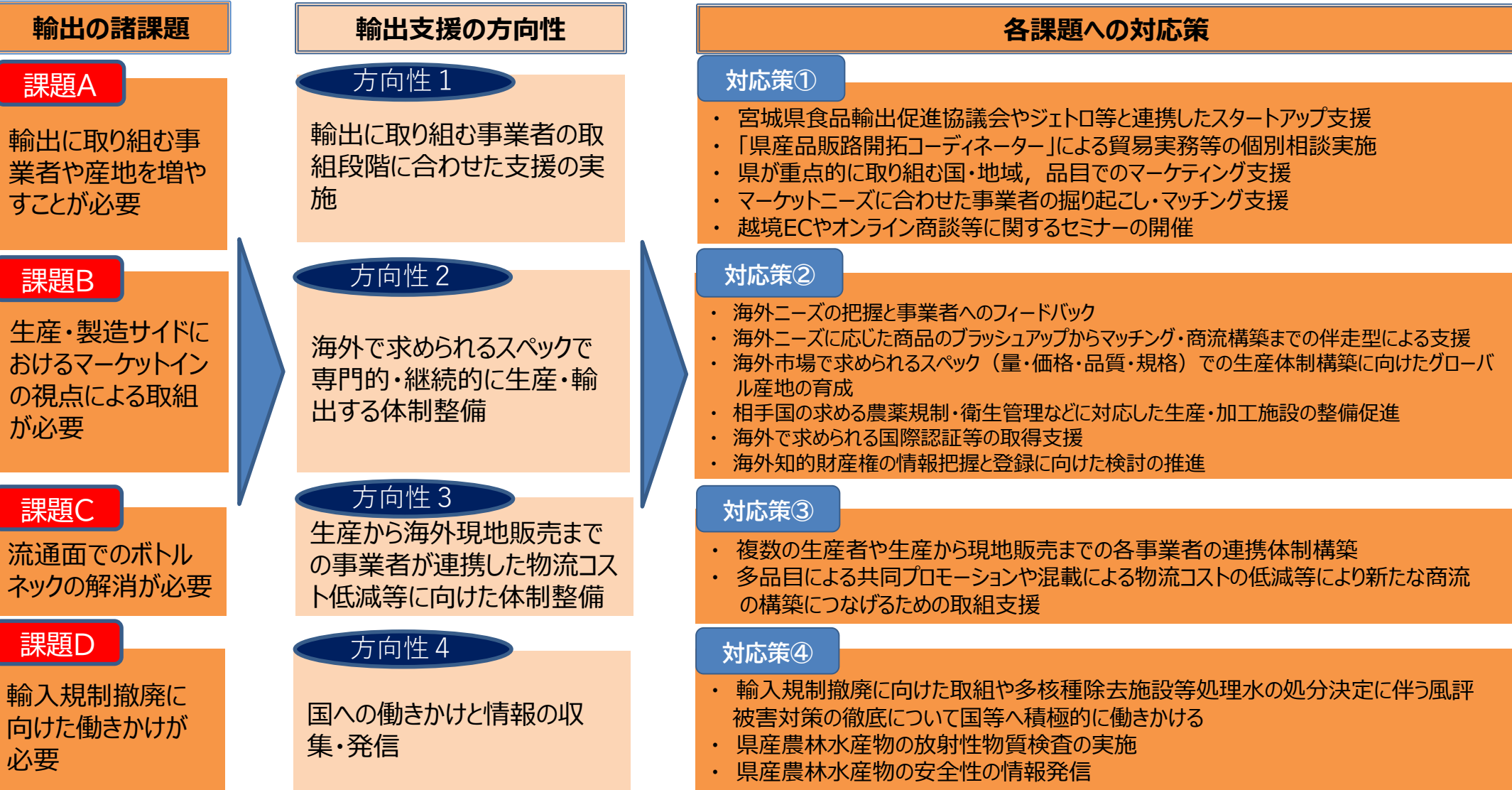
宮城県農林水産物・食品輸出促進戦略  
(2022~2024年度) 3年間

## 3 国の農林水産物・食品の輸出実績



## 4 本戦略の概要

目 標	県の取組を通じた目標指標	目指すべき姿
目標1 輸出に取り組む事業者の増加 目標2 輸出に取り組む事業者の利益拡大 目標3 生産・加工・流通・販売の事業者連携によるバリューチェーンの構築	・海外販路開拓相談件数 ・海外ビジネスマッチング支援件数 ・輸出に取り組む県内企業の増加数 ・新規に輸出につながった県産食品数 ・県産食品輸出に係る輸出総額 ・バリューチェーンモデル構築数	本県の豊かな自然や環境が育んだ県産農林水産物や食品の魅力を活かし、生産・加工・流通・販売に取り組む事業者が、海外への農林水産物・食品の輸出により、今後も事業を継続していくとともに、産業全体として成長していくこと



## 5 輸出基幹品目の取組の方向性

輸出基幹品目					取組の方向性
水産物	米	牛肉	いちご	日本酒	
海外から求められる品目は、ターゲットとする国・地域のマーケットや経済・社会情勢等により異なるため整理。					<b>水産物</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>①輸出促進に向けた品目のブランド化や付加価値の高い生産体制の整備</li> <li>②事業者連携による天然水産物の安定供給や加工による付加価値の拡大</li> <li>③グローバル産地の育成</li> <li>④輸出先国・地域別の規制対応や国際認証の取得支援</li> </ul>
国際情勢や自然環境の変化、デジタル化の進展などにより、海外情勢が変化することから、海外ニーズを捉えながら柔軟に対応。					
対象国・地域					<b>米</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>①大手卸業者との連携強化と現地ニーズに合った生産体制整備の促進</li> <li>②販路の多角化に向けた生産者の連携強化</li> <li>③バックご飯等、多彩なみやぎ米を活用した販路拡大</li> </ul>
					<b>いちご</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>①輸出トライアルの実施と高収益な輸出バリューチェーンの構築</li> <li>②高収益な輸出に対応できる産地の確立</li> </ul>
					<b>牛肉</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>①「仙台牛」の認知度向上</li> <li>②インバウンドと連携した「仙台牛」のブランド価値の向上</li> <li>③輸出体制の整備、販路の多角化</li> <li>④一頭買い促進によるコスト低減</li> </ul>
					<b>日本酒</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>①魅力的な「宮城ブランド」確立による知名度向上</li> <li>②酒蔵連携によるバリューチェーンモデルの構築</li> </ul>